



ごあいさつ



長泉町議会議員 副議長 杉森 賢二
S51年4月5日生まれ(47才) 辰年
長泉町駿河平区在住
法政大学大学院政策創造研究科修了

新たな年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
国内では、元旦に石川県能登地方での地震が発生し、復興の対応が続いております。被災をされた方々には、心からお見舞い申し上げますとともに、復興に尽力されている皆様には安全に留意されご活躍されることをお祈り申し上げます。

日頃は、すぎもり賢二後援会の活動、またたくし杉森賢二の政治活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。皆様のおかげで、長泉町議会議員3期目の2年が経過し、折り返し地点となった9月定例会にて副議長に選任されました。その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。下山和則議長と共に、円滑な議会運営と、町の更なる発展、活性化に努め、ながいずみの将来、未来に向けて、町民の命や健康を第一に、迅速かつ的確な施策を実行し、役割を十分に果たせるよう取り組んでまいります。今後とも町民の皆様、関係各位のなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



左:ギニア大使館顧問オスマンサンコンさんと
右:新型コロナウイルス対策支援 ギニア支援大使館にて

駿河平区防災訓練・消火訓練



静岡県立
沼津商業高等学校での
租税教室

各小中高校で
租税教室を実施



長泉花いっぱい倶楽部花壇管理
新たなメンバーを募集します!

- ①町民の命を守るウイルス感染症拡大防止と環境・災害対策
- ②認知症対策と健康長寿・健康増進フレイル予防対策
- ③出産子育て支援いじめ問題解決平等・職業観教育の推進
- ④身体・精神・知的・発達障がい者の就労支援と自立支援の推進
- ⑤ICTの有効活用に向けたデジタル化の推進とBCP(事業継続計画)産業発展の促進



5つの政策

提言 PICK UP

令和4年11月定例会
Q. 国が子育て支援に対し議論されている中で、分け隔てなくサービスを提供するために町が進める今後の事業は。

A. 子育てに関する分け隔てないサービス支援は、出産前から出産・育児においても継続的なサポートの充実、組み合わせが重要である。国は、妊娠届出時、出産届出時での支援策の制度化を進めているが、当町は出産時に加え、育児における節目となる3歳・6歳を迎える子どもをもつ保護者に対し、所得制限を設けずに子育てのために使用できる『3・6歳児応援事業』の支給を行う『長泉未来こども・3・6歳児応援事業』のスタートに向け、最終調整しており、このような様々な子育て環境の整備を進めていきたい。



令和5年6月定例会
Q. 現在休館しているクレマチスの丘ヴァンジ彫刻美術館の状況と今後の見込みは。

A. ヴァンジ彫刻美術館の存続に関して現段階では、県の譲渡に判断を待つしかない状況だが、当町は当該美術館を中心とした『クレマチスの丘』という県東部地域を代表する文化的エリアは、町の観光振興はもろろんのこと、県の『医療田園都市構想』に基づく、将来的なまちの発展にも必要不可欠な要素であると認識している。県担当部局とも十分連携の上、一日も早い譲渡に向けた体制づくりのため、地元自治体として、今後でもできる限りの努力をしていく。

現時点: 県議会において、旧ヴァンジ彫刻庭園美術館の寄付受け入れ等に関する美術館跡地活用計画策定事業の補正予算が可決され、県の寄付受け入れが決定した。受け入れ時期は、令和6年1月末予定。県の受け入れ後の予定は、県においてクレマチスの丘の広域的な活用構想をもっており、これの具体化を県、東部伊豆の町村、民間の文化施設、観光関係者、経済界が連携する。東部伊豆地域アフォーラム(仮称)の設置に向けて動いている。この拠点として旧ヴァンジ美術館を使用する想定となっている。それから、クレマチスの丘を構成することになる県、静岡新聞社、当町で協議会の設置の想定もしている。これらを受け、地域の文化、観光振興、組織づくりを県としては進める予定。再オープンには、令和7年度以降としており、明確な時期は定めていない状況。



わたしの政策提言 14のテーマ

テーマ1 令和3年9月定例会
町独自の新型コロナウイルス感染症
防止対策を

Q. 町内感染者情報共有で県との連携を。
A. 県との覚書締結に向けた準備を進める。

テーマ2 令和3年9月定例会
コロナ禍から地域経済の回復を

Q. 経営基盤強化に向けたDX導入支援を。
A. 早期実現に向け次のステップにつなげたい。

テーマ3 令和3年11月定例会
健康増進フレイル予防で健康
長寿対策の取り組みを

Q. 健康増進フレイル予防で健康
長寿対策を。
A. 高齢者の保健事業と介護予防
の一体化の本格的な実施に向け
準備を進めたい。

テーマ4 令和3年11月定例会
未来につながるスポーツ振興を

Q. 未来につながるスポーツ振興を。
A. 気軽に楽しみ健康でいられる環境を
作りたい。

テーマ5 令和4年3月
定例会
行政民間協働でごみ問題の
解決を

Q. 町民と協働で循環型経済の
構築を。
A. ごみの減量化、再資源化の
取り組みを図っていく。

テーマ6 令和4年3月
定例会
全国に誇れる町の
エネルギー政策を

Q. 新たな時代にに向けた再生
可能エネルギー活用を。
A. 再生可能エネルギー導入
については多角的に模索して
いく。

Q. 新たな時代にに向けた再生
可能エネルギー活用を。
A. 再生可能エネルギー導入
については多角的に模索して
いく。



島根県出雲エネルギーセンター
(可燃ごみ施設)にて



テーマ7 令和4年6月
定例会
人と動物が共生できる
心豊かな街づくりを

Q. 人と動物が共生できる
心豊かなまちづくりを。
A. 動物愛護、終生飼育に
向けた普及啓発を図る。

テーマ8 令和4年6月
定例会
高齢者の住みよいまちを目指して

Q. 老後安心して暮らせるために
介護体制の構築を。
A. 介護サービス量の確に
見込み、施設整備の検討を
進める。

テーマ9 令和4年9月定例会
生徒ファーストの部活動地域移行
対応を

Q. 中学校部活動の地域移行の
体制整備を。
A. プロジェクトチームを
作り検討したい。

テーマ10 令和4年9月
定例会
障がい者就労支援の拡充を

Q. 新たな障がい者就労支援体
制の促進を。
A. さらに充実した相談支援体
制を構築できるよう努める。

テーマ11 令和4年11月定例会
地方創生の実現に向けた
町の新たな取り組みを

Q. 将来の人口減少に向けた
町の取り組みは。
A. 更なる子育て環境の
整備を進めていきたい。

テーマ12 令和5年3月定例会
更なるデジタル化促進で新たな価値の
創造を

Q. ICT活用で質の高い情報発
信の展開を。
A. 確実に「伝わる」ことを意識し
取り組む。

テーマ13 令和5年6月定例会
自治体産業政策の新たな展開を

Q. 県ファルマバレープロジェクトとの
関わりを。
A. 構想の実現に向けまちづくりを
していく。

テーマ14 令和5年9月定例会
SDGsで自治体ブランド構築を

Q. 自治体モデル事業でSDGs
未来都市へ。
A. SDGs推進の方向でブラン
ド戦略に取り組む。
Q. 政府はSDGs達成に向け
優れた取り組みを提案する都市
地域をSDGsモデル事業に選
定し、取り組みを支援している。
この町の個性や価値を生かした
自治体SDGsモデル事業の展
開を。
A. SDGs未来都市の申請を
視野に入れながら、まずは総合
計画の推進を最優先に取り組む
とともに、町のブランドシンボル
が、SDGs推進の方向と一致
するため、引き続きブランド戦
略にも取り組んでいく。



鳥取県動物愛護センターにて



障がい者スポーツコミュニティ
長泉スポーツクラブにて



地域経済分析システム
リーサス

